

授 業 概 要

(こども保育学科)

授業のタイトル (科目名) I T スキル I	授業の種類 (講義 ・ 演習 ・ 実習)	授業担当者 佐藤 和成	
授業の回数 15 回	時間数 (単位数) 30 時間 (1 単位)	配当学年・時期 1 年・前期	必修・選択 必修
実務経験 あり なし 教育機関にて事務業務に従事。文書作成、統計処理、データベース管理、プレゼンテーション資料の作成等を行う。 表や写真等を含んだ、一般的なビジネス文書が作成できるよう講義する。 関数を使って計算、集計処理ができるよう講義する。			
[授業の目的・ねらい] 1. ワードについては、文字入力の基本操作から標準的なビジネス文書の作成を習得させる。 2. エクセルについては、初歩を習得させる。 [授業全体の内容の概要] ひとり一台パソコンが操作できる環境で、授業を行う。プロジェクターで画面指示を行いながら、学生各自で操作を行い、これを習得させる。 [授業終了時の達成課題 (到達目標)] 仕事、日常生活のなかのパソコン使用に役立てる。			
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法] コマ数 1. オリエンテーション 2. タイピング①、パソコンのしくみと基本的な操作 3. タイピング②、Microsoft Word の基本操作 4. 文字だけのかんたんな文書の作成～ひらがな、カタカナ、アルファベット、記号 5. 文書の編集操作①～ページ様式の設定、コピー・切り取りと貼り付け、挨拶文の挿入 6. 文書の編集操作②～文字の設定、文字列の配置、箇条書きと字下げ 7. 表作成 8. 図形 9. 画像 10. 表や図形の入った文書の作成 11. word のまとめ 12. 表計算ソフト、Microsoft Excel の基本操作 13. 表の作成と計算集計機能について 14. 振り返り、まとめ 15. 定期試験			
[使用テキスト・参考文献] 授業担当者作成のプリント使用		[単位認定の方法及び基準] ①4/5 以上の授業に参加していることで、定期試験を受験することができる。 ②定期試験得点 (70 点)、出席状況及び提出物 (30 点) で評価する。	

授 業 概 要

(こども保育学科)

授業のタイトル (科目名) I T スキル II	授業の種類 (講義 ・ 演習 ・ 実習)	授業担当者 佐藤 和成	
授業の回数 15 回	時間数 (単位数) 30 時間 (1 単位)	配当学年・時期 1 年・後期	必修・選択 必修
実務経験 あり なし 教育機関にて事務業務に従事。文書作成、統計処理、データベース管理、プレゼンテーション資料の作成等を行う。 グラフの作成やデータベースの管理ができるよう講義する。 Power Point の機能を理解し、プレゼンテーションできるよう講義する。			
[授業の目的・ねらい] 1. ワードについては、標準的なビジネス文書の作成を習得させる。 2. エクセルについては、関数の基本やデータベース管理、グラフの作成を習得させる。 3. パワーポイントについては、機能を活用した簡単なプレゼンテーションを習得させる。 [授業全体の内容の概要] ひとり一台でパソコンが操作できる環境で、授業を行う。プロジェクターで画面指示を行いながら、学生各自で操作を行い、これを習得させる。 [授業終了時の達成課題 (到達目標)] 仕事、日常生活のなかのパソコン使用に役立てる。			
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法] 1. IT スキル I のおさらい 2. プレゼンテーションと Microsoft PowerPoint の操作① 3. Microsoft PowerPoint の操作② 4. Microsoft PowerPoint の操作③ 5. Microsoft PowerPoint の操作④ 6. Microsoft PowerPoint の操作⑤ 7. プレゼンテーションと Microsoft PowerPoint の発表会① 8. プレゼンテーションと Microsoft PowerPoint の発表会② 9. エクセル 計算集計機能について 10. エクセル グラフの作成① 11. エクセル グラフの作成② 12. エクセル データベースの管理① 13. エクセル データベースの管理② 14. 振り返り、まとめ 15. 定期試験			
[使用テキスト・参考文献] 授業担当者作成のプリント使用		[単位認定の方法及び基準] ①4/5 以上の授業に参加していることで、定期試験を受験することができる。 ②定期試験得点(40 点)、プレゼン発表会(30 点)、出席状況及び提出物(30 点)で評価する。	

授 業 概 要

(こども保育学科)

授業のタイトル (科目名) コミュニケーション英語 I	授業の種類 (講義・ 演習 ・ 実習)	授業担当者 中山・エミヨウ・ジェニファー	
実務経験 あり なし 英会話教室での経験を活かして、簡単な英会話ができるよう教授する。			
授業の回数 15 回	時間数 (単位数) 30 時間 (1 単位)	配当学年・時期 1 年・前期	必修・選択 必修
[授業の目的・ねらい] 英語能力を高めて、簡単な会話で自分の意見を発表するための練習をする。 [授業全体の内容の概要] 基本的な英語によるコミュニケーションのスキルの提示。 [授業終了時の達成課題 (到達目標)] 一定レベルの英語を理解して、英会話で自分の意見を発表できるようになって、簡単な話をできるようにする。			
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法] コマ数 第 1 回 コミュニケーションのための英語 あいさつ・教室に使える基本英語 第 2 回 自己紹介、個人情報の交換について会話 第 3 回 時間と日常生活の動き 第 4 回 ふるさとについて会話 第 5 回 食生活 第 6 回 生活の動きの 12 ヶ月 第 7 回 音楽の好き嫌いについて 第 8 回 家族について 第 9 回 趣味や楽しみ 第 10 回 デートや映画などについて意見を発表すること 第 11 回 季節・天気・健康について 第 12 回 便利なものについて会話 第 13 回 何々体験がありますか・過去のことについて会話 第 14 回 ふりかえり・まとめ 第 15 回 テスト			
[使用テキスト・参考文献] ・Getting Info English 始めよう英会話		[単位認定の方法及び基準] ①4/5 以上の授業に参加していることで、定期試験を受験することができる。 ②ペーパー・テスト (60%)、口頭発表 (25%) 宿題の提出及びクラスの課題の提出 (15%) で評価する。	

授 業 概 要

(こども保育学科)

授業のタイトル (科目名) コミュニケーション英語Ⅱ	授業の種類 (講義・ 演習 ・実習)	授業担当者 中山・エミヨウ・ジェニファー	
実務経験 あり なし 英会話教室での経験を活かして、簡単な英会話ができるよう教授する。			
授業の回数 15回	時間数 (単位数) 30時間 (1単位)	配当学年・時期 1年・後期	必修・選択 必修
<p>[授業の目的・ねらい] 英語能力を高めて、簡単な会話で自分の意見を発表するための練習をする。</p> <p>[授業全体の内容の概要] 基本的な英語によるコミュニケーションのスキルの提示。</p> <p>[授業終了時の達成課題 (到達目標)] 一定レベルの英語を理解して、英会話で自分の意見を発表できるようになって、簡単な話をできるようにする。</p>			
<p>[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]</p> <p>コマ数</p> <p>第1回 Classroom English 個人情報</p> <p>第2回 家族と住まい</p> <p>第3回 趣味と好み</p> <p>第4回 ハロウィーン・パーティー</p> <p>第5回 時間や曜日や年月日</p> <p>第6回 お買い物</p> <p>第7回 日常生活の習慣</p> <p>第8回 お休み又はひまな時にすること</p> <p>第9回 町にある場所・指図すること</p> <p>第10回 電話での会話</p> <p>第11回 クリスマス・パーティー</p> <p>第12回 デートについて会話、外食について会話</p> <p>第13回 健康について会話</p> <p>第14回 口頭発表・まとめ</p> <p>第15回 テスト</p>			
[使用テキスト・参考文献] ・Out Front(アウトフロント)		[単位認定の方法及び基準] ①4/5 以上の授業に参加していることで、定期試験を受験することができる。 ②ペーパー・テスト (60%)、口頭発表 (25%) 宿題の提出及びクラスの課題の提出 (15%) で評価する。	

授 業 概 要

(こども保育学科)

授業のタイトル (科目名) 保育原理 I	授業の種類 (講義・演習・実習)	授業担当者 平澤 久美子	
実務経験 <input checked="" type="checkbox"/> なし 幼児教育分野での経験を通して、保育原理を教授する。			
授業の回数 15回	時間数 (単位数) 30時間 (2単位)	配当学年・時期 1年・前期	必修・選択 必修
<p>〔授業の目的・ねらい〕</p> <p>「生涯にわたる人間形成の基礎を培う時期」に保育士として子どもに関わることを常に胸に刻み、保育とは何かを学んでいく。</p> <p>〔授業全体の内容の概要〕</p> <p>保育の意義、基本的原理、歴史と現状、課題、様々な保育思想などの基礎知識を学ぶ。</p> <p>〔授業終了時の達成課題 (到達目標)〕</p> <p>保育とは何か、子ども観、保育環境、保育内容と方法、保育の計画など保育の全体像について理解をする。現状において保育者に求められている事は何かなどについて、自分なりに考察できる。また、歴史や制度を理解し実践を支える力をつける。</p>			
<p>〔授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法〕</p> <p>コマ数</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 はじめに「保育」という言葉からイメージするもの 2 保育とは何か 3 保育の基盤としての子ども観 4 保育における子ども理解 5 子どもが育つ環境の理解 6 保育内容・方法の原理 7 〃 8 保育の計画と実践の原理 9 保育者に求められるもの 10 保育の歴史に何を学ぶか (西欧) 11 保育の歴史に何を学ぶか (西欧) 12 保育の歴史に何を学ぶか (日本) 13 家族援助と子育て支援 14 保育の現状と課題 15 まとめ 			
<p>〔使用テキスト・参考文献〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「新しい保育講座①保育原理」(ミネルヴァ書房) ・保育所保育指針解説書 (フレーベル社) ・育ての心 (上) (フレーベル館) ・参考資料配布 		<p>〔単位認定の方法及び基準〕</p> <p>①4/5以上の授業に参加していることで、定期試験を受験することができる。</p> <p>②定期試験 (80点)、出席状況 (10点)、授業態度及び提出物評価 (10点) で評価する。</p>	